

第 6 章

小平市のCB事例から見る 起業プロセスと支援ニーズ

- 6-1 カフェラグラス
- 6-2 学園坂タウンキッチン
- 6-3 ライオンハウス
- 6-4 起業にチャレンジ！ コミュニティビジネス起業講座受講生終了3ヵ月後アンケートより
- 6-5 ヒアリングから見える支援ニーズ

第6章 小平市のCB事例から見る起業プロセスと支援ニーズ

6-1 開業 15 年新たな展開 カフェラグラス

1. 団体プロフィール

事業者名	カフェラグラス	事業内容	コミュニティカフェ・レストラン
		設立年	1996 年
所在地	小平市美園町 1-24-14 ヴァンベール 1 階		
TEL	042-344-7199	FAX	042-344-7199
URL	http://www.laguras.com/		
コミュニティビジネス的 こだわり	<ul style="list-style-type: none">・子どもを連れて行ける安心レストラン・ファーストフードやファミリーレストランのメニューとはひと味違った、「子どもにも伝えたいなつかしい味を大切に、『和』をベースにしながら型にはまらない家庭料理が食べられる店」・女性にとって働きやすい職場の提供		

小平駅から花小金井方面に徒歩 5 分。グリーンロード沿いのあじさい公園に隣接したコミュニティカフェ・レストラン。女性二人の共同経営でスタート後、経営の体制を変えながら、メニューの工夫、地域ネットワークの中でさまざまな取り組みにチャレンジし、開店後 15 年を迎えている。



ロケーション：小平駅から徒歩5分。グリーンロード沿い。あじさい公園隣接。



外観・エントランス。デッキではペットも可。



店内。ナチュラルな木のぬくもり。

2. 代表者のプロフィール

○松村三智子さん

カフェラグラス オーナー

大学卒業後、婦人服のデザイナーを8年間。その後子育てをしながら、小平のワーカーズコレクティブ「歩」で3年間、店の経営を学び、たすけあいグループ「ひまわり」にも2年間所属した。

介護の仕事を通してコミュニティカフェの必要性を実感する。1996年、共同経営者とともにコミュニティカフェへの一歩を歩み始め、現在に至る。

3. これまでのプロセスと事業内容

(1) 開店 1996年

○想い：ファミレスではなく、子どもたちと食事のできるお店がほしい。女性が働き続けられる場所をつくりたい。→なければつくろう！

○資金：友人と二人で共同経営（600万円ずつ出資）

○メニュー：ランチ・カレー1種類

○物販：小金井公園のはちみつ、フェアトレード雑貨

○庭：ハーブガーデン

(2) 共同経営から単独オーナー経営へ転換 2004年

スタッフが半分入れ替わる。ホームページがスタート、組織再生。

○ランチ：内容一新。スピーディーに提供できる料理方法の改善。

○物販：作家物食器・手ごろな陶器。玄関を広げ棚を設置。

○庭：個性的な庭をテーマにガーデニング開始。

(3) エフ・変化 2008年

○ランチ：小平産の野菜をランチに取り入れる。

○物販：手編みセーター・アクセサリをスタート。

○庭：小平市オープンガーデンに参加。



ランチは野菜がたっぷり素材を吟味している。地元小平産を使いたいので、近くの農家とのつながりを深めている。

4. ネットワーク

○地域の仲間とともにイベント

を開催：木曜日のマーケット at ラグラス (Jeudi marche)

ワークショップ、ライブ、パン・ケーキ、雑貨販売など

アトリエコナフェ (クッキー・焼き菓子)、コトリ花店 (フラワーアレンジメント)、グレイン (国

産小麦のパン) など

- 地元農産物販売・食材に取り入れ： 粕谷農園の資源循環野菜販売など
- 若手演奏家に場を提供： ラグラスライブ。チケットの売り上げはそのままクリエイターに。大人も楽しめるライブの場を地域に提供している。

5. 今後の展望

- 小平近隣の人たちが存在を知っているような店でありたい。
- コーヒーやランチを食べるだけに来るのではなく、庭で楽しんだり、物を買う楽しみがあったり、イベントやまちの情報を知る場所になりたい。
- 小平の他の店とつながって、イベントを企画して、活気のあるまちづくりをしたい。
- デイサービス、車椅子でこられる方々と赤ちゃんや子どもを連れてお母さんたちと、自然に交流できる店でありたい。

6. 今後の展望のハードルとなる現状の課題

- 物販： 新たな商品の発掘、棚貸しの希望者を見つけることが難しい。
- ネットワーク： 地域の中でのつながりがなかなか広がらない。
- 広報： 広報の力をもっと強めたいが、どのような方法がよいか試行錯誤している。
- ランチ： 天候や季節に左右されるが安定した売り上げを達成したい。

7. 必要なサポート

- 広報支援、広報方法のアドバイス（ツイッターなどソーシャルメディアを含めて）
- 地域のネットワークづくりのコーディネート

6-2 起業を実現・さらなる発展に向けて 学園坂タウンキッチン

1. 団体プロフィール

事業者名	学園坂タウンキッチン	事業内容	地域で支え合う関係を作るためのプラットフォームとして展開する地域の主婦によるおすそわけ事業
		設立年	2008年（法人化2010年）
所在地	小平市学園東町1-16-1 ショッピングセンターアサヒ		
TEL	042-347-7401	FAX	—
URL	http://town-kitchen.com/		
コミュニティ ネス的 こだわり	<p>老若男女を問わず、全ての地域の人々にとって必要不可欠である「食」を通して、顔が見えるまちづくり、コミュニケーションが生まれるまちづくり、地域や商店街で「ありがとう」が飛び交う、そんな「まち」づくりを目指す。</p> <p>地域がつながるおすそわけ～食を通じた相互扶助機能を持つまちづくりプログラム～ 地域農家の作った野菜を、地域に住む元気な主婦（＝タウンシェフ）が料理し、それを同じ地域に住む方たちに「おすそわけ」することで、「ありがとう」を地域社会に流通させるシステムの構築。</p> <p>★KEY FACTOR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り手と買い手は同じ地域 ・作り手の気持ちが原動力：経済的報酬＜社会的報酬 ・作り手と買い手の交流：「顔が見える」「会話」 		

2. 代表者プロフィール

○北池智一郎さん

1976年大阪生まれ。大阪大学工学部を卒業後、コンサルティングファームの朝日アーサーアンダーセン（現プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント）にて中央省庁、国立・私立大学などに対する経営戦略策定、人事制度・組織設計、業務改革などに従事。2005年より、外食ベンチャーのリンク・ワンにおいて、大手ファストフードチェーンやコンビニチェーンをはじめ、数多くの外食・小売業に対する教育研修・コンサルティングを実施。店長・SV向け教育研修、オペレーション改善によるコスト削減、人事制度設計、組織風土活性化支援、フランチャイズ本部構築、などの支援実績を持つ。

2008年より独立し、外食・流通企業向けに研修・コンサルティングに従事。また、地産地消プロデュース支援や地域清掃NPO立ち上げ支援、商店街活性化などに従事。現在に至る。

3. これまでのプロセスと事業内容

(1) 活動スタート2009年

任意団体TOWN KITCHENを設立。活動をスタート。

社会起業家を目指す若手人材を育てる「NEC社会起業塾」8期生に選抜され、起業準備をすすめるとともに、11月には横浜市大倉山商店街まつりに出店。地域の中の活動をスタート。

(2) さまざまな活動を次々と展開 2010 年

ソーシャルアパートメントイベント：外国人や地方出身の若者に「にっぽんのおふくろの味を」（横浜市青葉区）、働くお母さんのためのおすそわけプロジェクト（三鷹市）、地元有機野菜ビュッフェイベント（三鷹市）など、地域イベントを次々と展開し、多くのメディアにも注目される。

★メディア掲載

- ・読売新聞 1月1日 世のためシゴト 食卓に革命 33歳の夢
- ・よみうりテレビ「ウェークアップ!ふらす」2010年4月3日 日本を元気に 注目の主婦パワー
- ・朝日新聞 5月10日「はぐくむ」地域力 ご飯とぬくもり おすそわけの輪
- ・読売新聞 11月2日「食で街おこし」目指す 家庭の味 弁当で販売

(3) 学童保育へのお弁当配達開始 2010 年

夏休み期間中は給食がなく、困っているという母親の声がきっかけで、三鷹市立の学童保育児童向けに、地域のボランティアが運営するコミュニティカフェと協力して、夏休み期間中のお弁当配達を実施。7月21日～8月31日の月～金曜、67名の児童に対して、計865食のお弁当を配達。

弁当を利用している子どもの母親たちに、子どもが何を食べているのか知ってもらいたいと、毎日のメニューやレシピを会社のブログに掲載した。また、8月末には人気メニューを保護者に味わってもらう夕食会も開き、約30人が参加した。

(4) 法人化 2010 年

7月28日、株式会社タウンキッチン設立。資本金300万円。

(5) 学園坂タウンキッチンオープン 2010 年

学園坂商店街の一角にある空き店舗スペースに学園坂タウンキッチンをオープン。調理、献立づくり、料理提供をするのは小平在住のタウンシェフの方たち。



「おすそわけ」メニュー。野菜たっぷりの家庭の味。

4. 今後の展望

以下の目標実現を学園坂タウンキッチンの中で目指し、さらにその成果をさまざまな地域でも実現させていく。

- 地域のシニアや主婦の持つノウハウやエネルギーを活かした地域コミュニティづくり。
- 働き口がなかったり、何か地域社会のために活動したいと思うシニアの雇用の創出。
- 共働き世帯や母子・父子家庭の子どもたちをはじめ、多くの子どもから若者たちの乱れた食生活を解決する新しい社会インフラをさらに発展拡大した展開。
- 大量消費時代を前提とした本部一括の集約モデルではなく、地域で完結する事業モデルの創造

5. 今後の展望のハードルとなる現状の課題

地域内のさまざまな立場の方たちとのネットワークをつくり連携をすすめていきたいが、そのきっかけをどのようにつかむかが難しいと感じている。

また、店舗隣に新たにコミュニティスペースをつくる「地域のたまり場プロジェクト」をスタートさせた。実行委員会形式でアイデアを出し合う対話の場を通じて 15 年シャッターが閉じていた空き店舗が、いかにたまり場が変わっていくのか、というテーマに取り組んでいる。

6. 必要なサポート

- 地域の事業者同士が自由に交流しコラボが生まれるような場の仕掛けづくり。

6-3 孤独な母親が外とつながり輝く場を提供 ライオンハウス

1. 団体プロフィール

事業者名	ライオンハウス	事業内容	子育て中の母親が先生であり生徒でもあるカルチャースクール
		設立年	2009年
所在地	自宅事務所。活動場所は地域内公共施設		
URL	http://lion-house.jugem.jp/		
コミュニティビジネス的 こだわり	<ul style="list-style-type: none">・子どもがいて外に出られない、引きこもりがちなママを応援。・「ママが元気になるために」教える側も、教わる側もママ。 『教える技術があるけれど、教室を運営するのは心細い…』という母親に対して、教室を準備することから生徒募集、当日の受付など、軌道に乗るまでのサポート全般を行う。・結婚、出産後、ひとりで孤独になりがちな母親を対象に、「ママが活躍できる場所」を提供し、外の世界とつながるきっかけづくりとなる、地域密着のカルチャースクールの運営を目指す。		

2. 代表者のプロフィール

○川里富美さん

結婚後、夫の出身地である小平市民となり、出産。子育てを通じて、地域の子育て仲間の母親と接する中、ひとりで孤独に過ごす実態を知り、子育てで真っ只中の母親が、外とつながり、自分を輝かせる場作りであるカルチャースクール「ライオンハウス」の活動を始める。

本業はDTPデザイナーとして会社経営にも携わり、外の仕事に出向けない母親を対象に在宅ワークの提供も行っている。

3. これまでのプロセスと事業内容

(1) 活動開始

子育てを通じて、「子どもがいることで外に出かけられない」孤独な子育てをしている母親の存在を知る。

一方で、人に教えることのできる専門性をもつ母親が多くいることも知り、外とつながるきっかけ作りの場としてのカルチャースクールの運営を通じて、孤独な母親を支援する事業をスタート（2009年10月）。

(2) 事業内容

① カルチャースクールの種類

ブリザーブドフラワーアレンジメント、アロマ入門、ビーズ手芸、ダンスレッスン、ボーカルレッスン、ベビーマッサージ、キッズ英語など。

※その他、クリスマス親子コンサート、ワークスタジオ、手作り作家作品販売、イベント企画運営なども行う。

② 活動場所

- ・公共施設（主に東部市民センター集会室）
- ・カフェの個室を借りて、ランチ付き講習

③ 回数

月2～4回

④ 費用

参加費はワンコインを目安にランチ代程度で楽しめるよう設定。その金額で協力できる講師を募って開催。参加費のうち、20%をライオンハウスが手数料として受け取っている。

⑤ 参加者の募集方法

ブログ、SNSを通して教室情報を提供。QRコードからメルマガ登録ができる仕組みを取り入れ、登録者には随時、教室開催情報を届けている。

参加者は花小金井近辺を中心とした西武線沿線在住の母親。

⑥ ライオンハウスの仕事の流れ・サポート内容

- ・講師と打ち合わせ、契約
- ・開催地の手配、生徒募集
- ・当日施設の準備、会費徴収、保育
- ・おもちゃの準備、終了後のお茶出し、講師への支払
- ・ブログ、SNSへの報告



ピース講習会。参加者の母親が講習に専念できるよう、かたわらでは保育サービスも行っている。

4. 現状の課題

運営スタッフの不足により、規模の拡大が難しい。

・保育スタッフ

子育て中の母親が講習に集中するために、講習時には、保育サービスを行っているが、現在の保育担当のスタッフ数では、これ以上規模を大きくすることができない。参加人数を増やすためには、保育の受け入れ態勢を充実させる必要がある。

・運営スタッフ

運営補助（当日の受付、講師とのスケジュール調整）をする補助スタッフが数名必要。

5. 必要なサポート

○広報のサポート

母親が一步踏み出すための情報の場が足りない。市報への掲載や公共施設へのチラシ配布など、多くの市民の方たちに教室の情報を提供できる広報のサポートがほしい。

○気軽に借りられる会場

気軽に借りられる講習場所がほしい。現在は公共施設を借りているが、借りる手続きのための労力が負担。

6. 今後の展望

孤独な子育てをしているより多くの母親に活躍できる場、外とつながれる場をより多く提供していきたい。そのために保育の充実、登録講師の充実を目指したい。

また子どもが大きくなったあとも、お母さん同士がつながれる仕組みをつくりたい。

1. 小野朋江さん

プロフィール：日本語教師（専門学校非常勤講師）多文化共生ネットワークたま代表（任意団体）

(1) 起業テーマ

「地域密着型おたすけ翻訳サービス」

- ・内容：地域の外国人と、外国語ができる日本人が協働で翻訳サービスを提供。
- ・対象：地域の中小企業や教育機関。
- ・社会的意義：地域の外国人と日本人の活躍と雇用の場。市民と地域の企業や学校とのつながりを深める。手軽に利用できる翻訳サービスにして、中小企業や学校の国際化を手助けする。
- ・将来像：自治体の情報提供の翻訳も受注し、外国籍住民を情報弱者にしない社会をめざす。

(2) 受講のきっかけ

「地域で生活する外国人が情報弱者になりやすい」「社会で活躍する場が少ない」という問題意識と、これをボランティアではなく仕事としてやりたい、という思いを持っていました。講座案内を見て「地域の課題をビジネスの手法で」という部分にピンとききました。

(3) 実際に受講して

「自分が持っている問題意識が、ほかの人にはどう受け止められるか」、「一人よがりではないか」を確認できました。またビジネスにするとはどういうことか、事業計画からリスクマネジメント、資金計画まで、自分には基本的な知識がまったく足りないこともわかりました。

(4) 講座終了3ヵ月後の進捗状況

講座でのプレゼンをもとに企画書を作り、賛同してくれる仲間を集め、1月に5名で団体を立ち上げました。ビジネスプランの推敲を進める一方、地域の外国人とつながって生の声を聞くために、「多文化ママカフェ」というイベントの開催を始めました。

当初、翻訳サービスを検討していましたが、外国人にとって大きな課題である、雇用の問題に取り組みたいと思い、現在新しいビジネスプランを考え中です。4月からの「みたか身の丈起業塾」の受講が決まっています。6月のビジネスプランコンペに応募予定です。

(5) CB起業に際して必要だと感じるサポート

- ・ビジネスパートナーを求めたい

ミッションに賛同してくれる仲間が集まっても、実際にビジネスとなると責任も生じてくるので、ビジネスプランが具体的になるほどメンバーが及び腰になっていきます。一人でやっていくには能力に限界があるので、自分の足りないところを補ってもらえるようなビジネスパートナーと出会いたいです。

- ・低価格で学べる講座

企業向けホームページの作り方（趣味用ではなく）／経理・税務・雇用についての知識／NPOや株式会社などの違い、設立方法、運営のポイント

- ・助成金の情報
- ・低価格で借りられる事務所

2. 伊東充千枝さん

プロフィール：アロマセラピーインストラクター・セラピスト、自然療法家、アロマスクール講師、自宅にてサロン&スクール展開、ボランティアでのワークショップ企画・担当

(1) 起業テーマ

人に楽しさや優しさ、温もりを伝えたいと思う気持ち、また資格を持ちながら、どう活かしたらいいか、一歩を踏み出せない人をサポート、そして協力し合い人とのつながりの架け橋になることで笑顔あふれるコミュニケーションづくりの場を作りたいと考えています

植物の持つ香りや人の手の優しさがもたらす癒しの効用を手作りや体験を通して楽しみながら、自然界への畏敬の念、自分への優しさ、人と触れ合うことの大切さや心身に優しい環境づくり、そんな気付きが生まれるようなワークショップを展開します。

(2) 受講のきっかけと受講後の感想

事業での行き詰まりを感じて、何か変化を求めたいと思い参加させていただきました。皆様のパワーと、事業をどうとらえるか…見える化！（視覚化）とても勉強になりました。

人をまちを、違った視点からとらえることができ、地域の中で私にも、まだまだできることがある、夢があったんだ！そんな再発見も。実現化にはどう表現してどう展開すればいいか、いまだ発想の転換ができずにいますが、とても楽しくためになる時間でした。

(3) 講座終了3ヵ月後の進捗状況

計画は、実現したいと思いながら、今年に入ってから、またこの震災、計画停電等の影響で今は自分の生活が成り立たない状況に直面しております。そのせいではないかとも思いながらも、心が揺れているのが現状です。CB講座での経験を少しでも生かしたいと思い気持ちを切り替えてはいますが、試行錯誤も今は空回りでしょうか。

実践と実感が楽しさを生むことを知っていただく事が一番で、そのためにワークショップ等も企画しておりますが、何かが足りないのでしょうか。思い描いたことが夢で終わらないように、今自分のしたいことは！自分にできることは！と問いかけながらいろいろな方向性を探っています。

(4) CB起業に際して必要だと感じるサポート

場の提供、広報、展開の仕方、資金

3. 大島孝仁さん

プロフィール：クオリアンヒュッケ（市民団体）

(1) 起業テーマ

ベースは障害福祉の分野で、個々の「人生」・「生涯」のできごとを講演という形で活動します。

そこで聞いてくださった方々の感じた思いを「お金」と言う一つのツールに変換していただきます。

これ一本では、難しいので母体に「障害児者・高齢者・幼児・子ども」誰もが参加できるデイケア施設を設立したいと考えています。

(2) 受講のきっかけと受講後の感想

地域とつながり地域で起業したいと思っています。CB起業講座を受講して地域のネットワークの現状を知ってとても勉強になりました。より小平が好きになり起業したい思いが強まりました。

(3) 講座終了3ヵ月後の進捗状況

ホスピスの施設で、自分の人生経験（家族で挑戦した自転車家族旅）の話を1時間ほど話させていただきました。

(4) CB起業に際して必要だと感じるサポート

- ・志を共にする仲間（地域で）
- ・施設運営に関わる法律の勉強（自立支援法・児童福祉法・介護保険法）
- ・経営のやり方
- ・新型のリフト付きで車イス2名が乗車できるハイエースを買う資金

4. 栗山祐子さん

プロフィール：【仕事】クリエイティブ系人材派遣会社事務、絶対音感習得 e ラーニングサイト事務局 【ボランティア】タウンキッチンタウンシェフ、留学サポート（コアカナダエデュケーション東京オフィス）

(1) 起業テーマ

今の子どもがおとなになったときに、今よりもっとひとりひとりの能力が発揮しやすい社会にするために、教育の分野での活動をしたいと思っています。

具体的には、カナダ滞在経験と現地でのコネクションを活かして「英語寺子屋」の開校を模索中。英語を学ぶのではなく、英語で生活する場所を作る。英語で料理を作ったり、英語で勉強したり本を読んだり、歌を歌ったり映画を見たりする場を提供する。海外からの留学生は生徒の家に無料で宿泊（ホームステイ）ができる代わりに、安価で講師を引き受けてもらう、など。

(2) 受講のきっかけ

子どもの未来のことを考え始め、この社会に自分のできることで働きかけたいと思い始め、CBにいきあたりました。起業というとても遠い世界の話であるけれども、CBでの起業は自分の身の回りのことから1つ1つ積み重ねていけるから、イメージしやすく、実現しやすいのではないかと考えていました。

(3) 実際に受講して

実際、講座を受けてみて「起業」というアクションはやはり自分にとってはハードルが高いものだと実感しました。「とりあえず、作ってみた」とか「やりたいからやってみた」というわけにはいかな

い、ということを実感しました。

でもそれと同時に起業することが目的ではないのだから、どんな形でも自分にできる手段や、感じる思いで行動していけることを実感しました。

(4) 講座終了 3 ヶ月後の進捗状況

バンクーバーで留学エージェントをしている知人と、英語寺子屋、子ども向け英語絵本の通信販売などを計画中。

まだアイデアの段階ではありますが、何年かかってもぜひ実現したいと思っています。

(5) CB起業に際して必要だと感じるサポート

起業講座で起業したい人たちの交流ができるのは、起業について学べるのと同じくらい大切な事でそれができたのはとてもよかったと思っています。と同時にその事業自体をサポートしてくれる方たちとの交流ができるとよいと思います。

私で言えば多摩地区にいる留学生との接点がありませんので、多摩地区の大学や高校などの学生と交流できる場面であるとかネットワークを紹介していただいたり、情報などを提供していただいたりなどです。

でもそういったことも自分の知恵と体を使って探していかないといけないのでしょうね。

5. 池田真砂子さん

プロフィール：精神科病院の看護師（リハビリ部門で精神障害を持つ方の就労支援を担当）

(1) 起業テーマ

今回は、精神障害者の就労支援と、精神障害の経験を活かしたメンタルヘルスへの寄与でプレゼンをいたしました。

大きくは、誰もが自分の能力を活かし、人とつながり、安心してライフサイクルや人生の様々な課題を迎える事が出来るように…と考えています。

(2) 受講のきっかけと受講後の感想

CB起業を知ることや、自分に「起業」はできることなのか、可能性を探ることを目的に参加いたしました。実際参加してみて、自分が「起業」できるような環境づくり（ごく個人的な事ですが、今の仕事や貯金・家庭のことなど）をしてから始めないと難しいとわかりました。

一方、みなさまの様々な思いに触れ、地域の現状を知り、新しい出会いや視点が得られたのがとてもよかったです。

(3) 講座終了 3 ヶ月後の進捗状況

起業は現在未定です。小さな小さな一歩として、4月から障害者雇用の切り口のセミナーを企画中です。

(4) CB起業に際して必要だと感じるサポート

十分です。あとは自分のやる気だと思います。

6-5 ヒアリングから見える支援ニーズ

小平市内で、すでにコミュニティビジネスを起業している事業者および、コミュニティビジネス起業講座受講生に対してのヒアリングから、いくつかの共通の支援ニーズが浮かび上がってきました。

以下はその主なものですが、コミュニティビジネスの活性化のためには、こうした支援ニーズをつかみ、具体的な支援を展開していくことが大切です。

1. 広報支援

(1) 広報の場の提供

事業をスタートさせるにあたって最初に必要なのは、地域に認知してもらうということですが、その手段として一歩踏み出す広報の場が足りないという悩みを共通に持っているという実態がわかりました、多くの市民の方たちに情報を提供できる広報のサポートが求められています。

(2) 広報スキルの習得

ツイッターなどの新しいツールも含めた幅広い広報スキルを身につけるための講習や、広報方法のアドバイスへの要望があります。

2. 地域ネットワーク作りのサポート

(1) ビジネスパートナーとの出会いの場

互いの強みを活かし補完しあうビジネスパートナーとの出会いの場へのニーズも高い結果がでました。小規模な事業者が多いコミュニティビジネスの場合、ひとつの事業者ですべてをまかなうことはむずかしく、異業種のパートナー同士が協力しあうコラボレーションのなかで事業を進めたいという希望は多くあります。そうしたつながりの場の仕掛け、コーディネートが求められています。

(2) 志をともにする仲間との交流の場

地域密着の社会貢献性のあるコミュニティビジネスは、志のビジネスともいえますが、そうした思いを共通に持った仲間同士が出会い、交流する場が求められています。

3. 気軽に使える場の提供

講習・イベントを実施できる場、スタートアップのときに低価格で借りられる事務所、という場所への要望も多く見受けられました。公共施設にはさまざまなルールがありビジネスとはそぐわない側面がありますが、その枠組みにとらわれない、より気軽に活用できる場が求められています。

4. 経営を学ぶ講習会

起業後も事業を進めていくためには、さまざまな知識が必要であり、時代の流れに沿ったスキルを学び続けていく必要があります。経理・税務・雇用についての知識、NPOや株式会社などの法人選択の知識や設立方法、運営マネジメントなどを学ぶ講習会の要望が寄せられました。

第 7 章

CB起業家のための サポートネットワーク

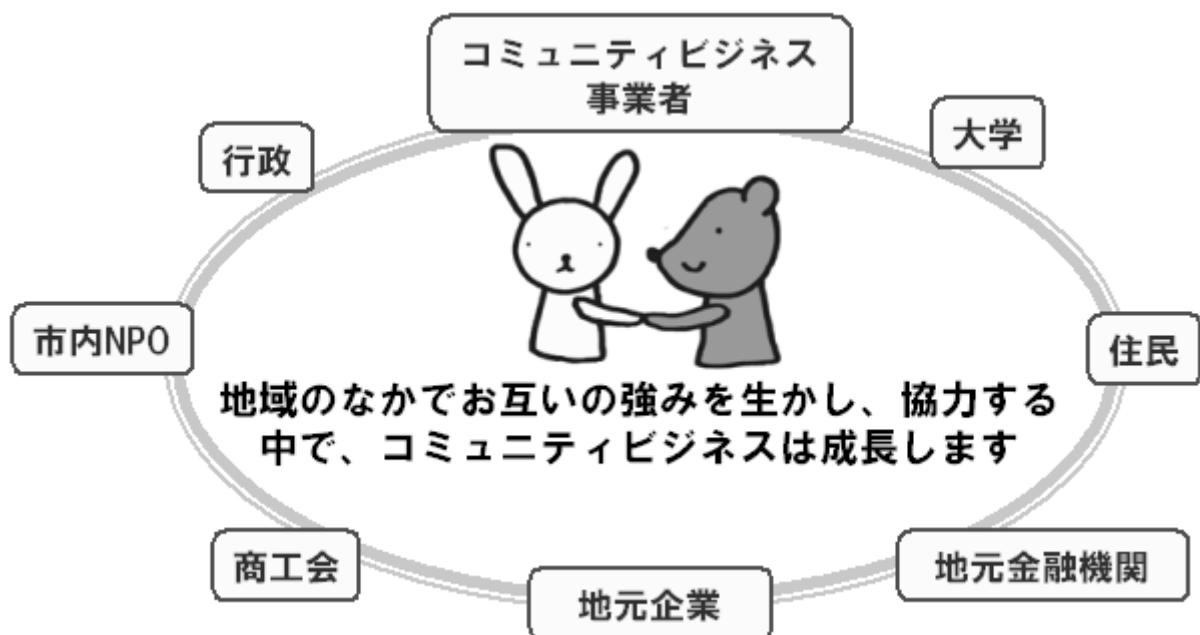
- 7-1 コミュニティビジネスと地域ネットワーク
- 7-2 CB起業はじめの一步ストーリー
- 7-3 さまざまな創業サポート一覧

第7章 CB起業家のためのサポートネットワーク

7-1 コミュニティビジネスと地域ネットワーク

地域の中にはさまざまな団体が活動し、いろいろな立場の市民の方たちが暮らしています。立場は違っても「地域の課題を解決し、まちを元気にしたい」という願いはきっと共通です。

その共通の思いをつなげて、個々の強み、得意なことを生かし、協力する中で、「地域の課題を解決する」事業であるコミュニティビジネスは成長していきます。



7-2 CB起業はじめの一步ストーリー

コミュニティビジネスを起業し、成功させるためには、地域ネットワークを生かし、さまざまな地域の力をつなげていくことが大切です。

豊かなネットワークを築くことができれば、そのコミュニティビジネスは地域に根を張った強いものになります。

では、どのように、それぞれの力を生かしていくことができるでしょう。

小平のまちで、あらたにコミュニティビジネスの立ち上げにチャレンジする「小平太郎」さんの起業ストーリーから、コミュニティビジネス起業の「はじめの一步」をたどってみましょう。

◎小平太郎さんのCB起業ストーリー◎

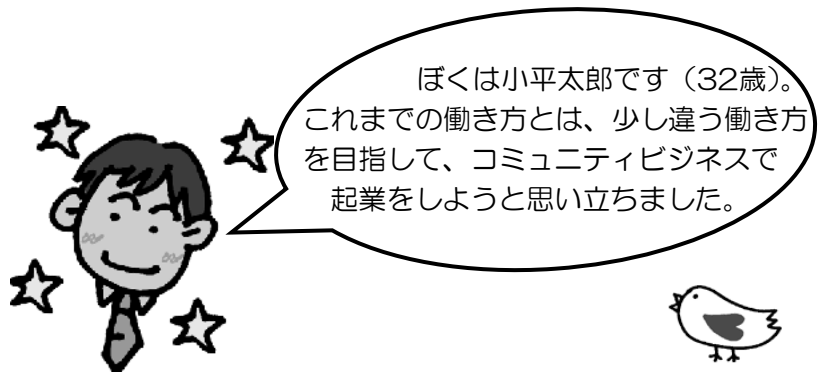
★やる気は満々なんだけど…

『小平のまちが好き。小平で働きたい。それも、まちを元気にする仕事をしたい!』

小平太郎さんは、やる気満々です。なのですが…

さて、いったいどんなテーマで、どんな手順で始めればいいのか？まちには同世代の友だちは

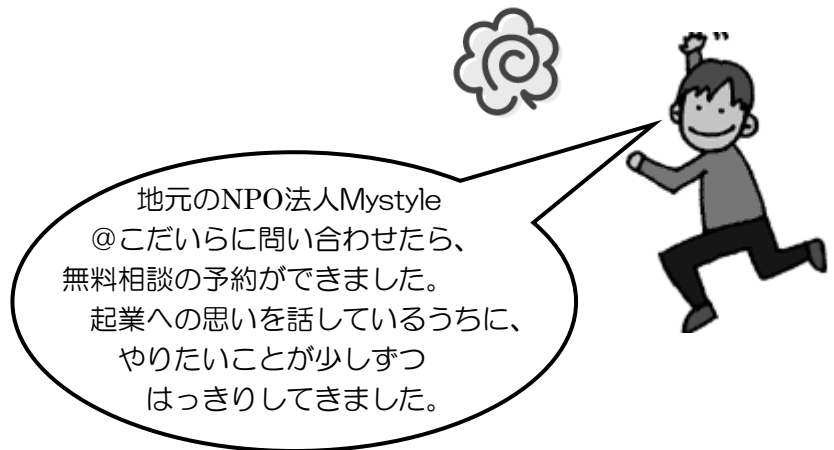
たくさんいるけど、もっといろいろな世代の人たちとつながりたい。いろいろな団体とのネットワークもつくりたい。



『う〜ん。はじめのきっかけをどうつかめばいいのかな…』

相談窓口

●NPO法人Mystyle@こだいら
コミュニティビジネスに関する無料相談。
毎月第2木曜日午後3時～5時
(要予約)
TEL :042-348-8456
FAX :042-348-8457
jimukyoku@mystyle-kodaira.net



★コミュニティビジネスの起業ノウハウを学ぼう!

やりたいことのテーマが定まって、業種もほぼ決まりました。さあ!いよいよです。

ところが、太郎さんは、そもそもコミュニティビジネスについて、漠然とした知識しかありませんでした。社会貢献ができる事業をやりたい!ということで思い立った太郎さんですが、実際の起業にあたっては、もっとしっかりした知識を学ぶ必要があると感じました。

- コミュニティビジネスとは? どんな事例があるのか?
- 一般のビジネスとどう違うのか? ボランティアとどう違うのか?
- 事業計画はどう作るの? 地域ネットワークづくりのポイントは?

調べてみると、身近なところでいろいろな関連の講座が開催されていました。そこで、コミュニティビジネスについて体系的に学び、実際の起業ノウハウも身につけられる起業講座に参加することにしました。



講 座

※開催予定は個別にお問合せください。

●小平商工会「創業講座」

創業・新規開業を計画されている方、創業して間もない方を対象に、必要な知識やノウハウを体系的に習得できる実践的なカリキュラムのセミナー。

<http://www.kodaira.or.jp/>

●西武信用金庫 コミュニティビジネス支援事業

創業セミナー、事業セミナーの開催

事業者の方、従業員の方、またはこれから事業を始めたい方を対象に、業種や目的を絞り込んだセミナーを企画・開催。

<http://www.seibushinkin.jp/community/>

●NPO法人Mystyle@こだいら

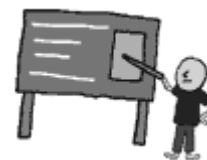
CB入門講座、CB起業講座等を開催。地域密着のコミュニティビジネス中間支援組織として、自分らしいスタイルで働くワーク・ライフ・バランスの実現と暮らしやすいまちづくりに寄与することを目指し、コミュニティビジネスを育むための基盤づくりに取り組んでいる。

<http://mystyle-kodaira.net/>

講座に参加した小平太郎さん。座学だけではなく、まちに出て地域ニーズを調査する宿題にもチャレンジ。実現性のある事業計画作りに頑張りました。

起業講座の最終回は、事業計画のプレゼンです。

聴衆は、ともに学んだ受講生さんたち、講師の皆さん、そしてオブザーバー参加の地域の方たち。限られた時間でいかに自分の事業を伝えることができるかが試されます。



こうして書類の上ではできあがった事業プラン。いよいよこれから具現化にチャレンジです。

★いよいよ起業！資金計画は??

さあ、事業プランの実現に向けて実際に動き始めました。

パソコン、プリンタ、机、椅子、本棚など、必要最低限の仕事道具だけでもけっこうたくさんあります。名刺、ホームページ、パンフレットなど、事業を伝えるツールも必要です。

事業を開始して収入を得て事業が順調に回っていくまでは手持ちの資金でまかなう必要もあります。

そうしたときに必要な資金は、自己資金だけでは少し足りない小平太郎さん。融資の相談窓口に出向くことにしました。



融資を受けるためには、現実的な事業計画。そして、なによりも信頼をもらうこと。頑張るぞ！



融資相談

●小平市

事業資金の融資あっせん制度

小規模事業者が事業資金の融資を受けるとき、市が指定する金融機関に融資のあっせんをし、利子の一部補給および信用保証料の一部を補助。

<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/016/016035.html>

●小平商工会

融資の相談(融資の斡旋、提出書類の相談など)

<http://www.kodaira.or.jp/youshi>

●多摩信用金庫

たま創業支援融資BROOM

創業当初を応援。元金据置返済期間を最長3年まで選択可能。当初最長3年間は利息のみの支払いで、4年目から元金を返済。

http://www.tamashin.biz/01_business/

NPO事業支援ローン

国または地方公共団体等からの受託業務に関するつなぎ資金は固定金利年1.0%。その他は固定金利年3.0%を上限。

http://www.tamashin.biz/01_business/01_financing/03_npo/

●西武信用金庫

西武コミュニティローン (コミュニティビジネス支援ローン)

地元で、地域貢献のためにコミュニティビジネスを営む事業者へ、無担保1,000万円までご支援。

<http://www.shinkin.co.jp/seibu/finance/community>

●日本政策金融公庫

中小企業者のニーズや国の政策に沿って様々な特別貸付を用意。

(新事業育成資金・女性、若者／シニア起業家支援資金・再チャレンジ支援融資・新事業活動促進資金・経営環境変化対応資金・地域活性化／雇用促進資金)

<http://www.cjfc.go.jp/jpn/bussiness/>

★起業したからには事務所もほしい！

起業に際して小平太郎さんは、小さくても独立した事務所を構えたいと思いました。自宅事務所にしようかとも考えましたが、独立した電話回線、来客への対応、落ち着いた仕事環境、法人登記のことなど、総合的に考えて事務所を借りよう決めました。

しかし、なにかと物入りな起業時に、できるだけ資金的負担はおさえない太郎さん。なにかよい方法はないかな…と調べてみると、小平商工会のチャレンジショップ事業を発見！



チャレンジショップ

●小平商工会

※募集の詳細はお問合せください。

こだいらチャレンジショップ事業

小平市で新たに事業を始めたい方に契約家賃の40%を最長で1年間家賃補助。(上限月額5万円)

<http://www.kodaira.or.jp/>



なにかと物入りな創業時の家賃補助は助かる！
補助がある1年間で、しっかり事業を軌道にのせて、自立して家賃を払えるように頑張るぞ！

★ひとりじゃないよ。地域ネットワーク♪

こうして起業までこぎつけた小平太郎さん。事業はいよいよこれからです。

実際に事業をまわしていく過程では、不安なこともいろいろあります。そんなときに、相談しあったり、情報を得たり、連携したりといった地域内の仲間がいると心強いと考えた太郎さんは、積極的にネットワークづくりにも動きました。

今では、まちで出会うと気軽に挨拶をかわしたりする知り合いも増えて『ひとりじゃないなあ。』と感じる毎日です。



地域ネットワーク

●小平市内のCBネットワークをつくりたいなら「交流会マイスタイルな夜」

小平のコミュニティビジネスに関わる人々を対象に2ヶ月に一度のペースで開催する交流会。第一部はゲストを招いたトークライブと参加者の活動プレゼンタイム。第二部は懇親会。地域密着の旬のCBの動きを知り、リアルにネットワークをつくることができます。

<http://mystyle-kodaira.net/>

●多摩地域のCBネットワークをつくりたいなら「多摩CBネットワーク」

多摩地区各地でのCBの団体がゆるやかにつながっているネットワーク。年に1度はシンポジウムを開催している他、多摩各地でのCB関連イベントも活発。小平をこえて、ひろく多摩のCBの動きを知ることができます。

<http://tamacb.blog38.fc2.com/>

●市民活動とつながりたいなら「小平市民活動支援センター あすぴあ」

市内の市民活動団体の情報をはじめ、印刷スペース、交流スペース、会議室、メールボックス、図書資料の閲覧、機材の貸し出しなどのサービスが提供されている。

<http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp/>

●ボランティアを探すなら「小平市社会福祉協議会ボランティアセンター」

ボランティアをしたい個人や団体と、ボランティアのサポートを求めている個人や団体のコーディネートや、各種養成講座・講演会を通じた啓発活動、ボランティア・市民活動に関する情報の収集・発信を行っています。

<http://kodaira.main.jp/>

●経営や技術のことを専門家に相談したいなら「東京都商工会連合会 エキスパートバンク」

<http://www.shokokai-tokyo.or.jp/consultation/window/expertbank.html>

7-3 さまざまな創業サポート一覧

1. <融資の相談>

- 小平市：<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/016/016035.html>

事業資金の融資あっせん制度

小規模事業者が事業資金の融資を受けるとき、市が指定する金融機関に融資のあっせんをし、利子の一部補給および信用保証料の一部を補助。

- 小平商工会：<http://www.kodaira.or.jp/yuushi>

融資の相談

融資の斡旋、提出書類の相談など。

- 西武信用金庫：<http://www.shinkin.co.jp/seibu/finance/community>

西武コミュニティローン（コミュニティビジネス支援ローン）

地元で、地域貢献のためにコミュニティビジネスを営む事業者へ、無担保 1,000 万円まで支援。

- 多摩信用金庫：http://www.tamashin.biz/01_business/

たま創業支援融資BROOM

創業当初を応援。元金据置返済期間を最長 3 年まで選択可能。当初最長 3 年間は利息のみの支払いで、4 年目から元利金を返済する方法。

NPO 事業支援ローン

コミュニティビジネス応援。年利 1%。国または地方公共団体等からの受託業務に関するつなぎ資金は固定金利年 1%。その他は固定金利年 3%を上限。

- 日本政策金融公庫：<http://www.c.jfc.go.jp/jpn/bussiness/>

特別貸付

中小企業者のニーズや国の政策に沿って様々な特別貸付を用意。

(新事業育成資金・女性、若者／シニア起業家支援資金・再チャレンジ支援融資・新事業活動促進資金・経営環境変化対応資金・地域活性化／雇用促進資金)

2. <助成金など>

- 小平市：<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/>

小平市市民活動支援公募事業

団体の自主的で公益的な事業に対して、事業経費の 2 分の 1 以下、30 万円を限度に補助。

小平市いきいき協働事業

ボランティア団体や市民活動団体、自治会等が、公益性の高い事業を提案し、市と協働して実施することにより、市民との協働の推進を図るとともに地域の課題の解決など公益の増進に寄与することを目的とした事業。

○小平商工会：<http://www.kodaira.or.jp/>

こだいらチャレンジショップ事業

小平市で新たに事業を始めたい方に契約家賃の40%を最長で1年間補助。(上限月額5万円)

○西武信用金庫：http://www.shinkin.co.jp/seibu/outline/NPO_josei

「eco. 定期預金」による西武環境保全活動助成金

地域の環境問題に取り組むNPO法人等の活動支援を目的とした、預金者と、地域の環境NPO団体、金庫が一丸となって実践する、身近で確実な環境保全活動預金。

3. <スペースの提供>

○西武信用金庫：http://www.shinkin.co.jp/seibu/community/community_office

コミュニティオフィス

地域活性化推進を目的に、社会貢献活動を行う団体・個人を対象に、コミュニティビジネスを促進するための地域活動拠点を杉並区の西武信用金庫荻窪支店3階に設置し提供。

○多摩信用金庫：http://www.tamashin.biz/01_business/

インキュベーション施設BLOOMCENTER

創業支援の想いを形にすべく創業間もない法人・個人を対象に、金融支援にとどまらず総合的な支援を行う、創業支援施設を京王八王子支店のビル7階に開設。

○小平市民活動支援センターあすぴあ：<http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp/>

印刷スペース、交流スペース、会議室、メールボックス、図書資料の閲覧、機材の貸し出しなどのサービスを提供。

第 8 章

全国のコミュニティビジネス 活性化の動き

- 8-1 コミュニティビジネス活性化策の現状
- 8-2 中間支援事例 港南台タウンカフェ（横浜市港南区）
- 8-3 中間支援事例 NPO 法人 ACOBA（我孫子市）